



新型コロナウイルス感染症 事前の備えと対応

宮城県新型コロナウイルス感染症対策介護ワーキンググループ

入所系
施設

1 日頃から意識することが大切です！

- ・ **正しいマスクの使用**（サージカルor不織布マスクを使用し、**鼻と口をしっかりと覆う**）
- ・ **職員同士の会話でもマスクを着用・飲食時は会話しない**
- ・ **適切な換気の実施**
- ・ 食事中は**利用者同士の距離を保つ**
- ・ **対面**になることを極力回避（側面、背面からの介助を意識）
- ・ **3密を回避**（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、近距離で会話する密接場面）
- ・ **適時・適切な手洗い、手指消毒**
- ・ **目・鼻・口には触らない**（触る前は手指消毒を）
- ・ **職員やその同居者が体調不良の場合は出勤しない・させない**
- ・ **利用者及びその同居者も健康チェック**
- ・ **勤務体制の見直し**
- ・ **発生時を想定した勤務体制の構築**
- ・ **防護服等衛生資材の使用方法を確認**



～宮城県長寿社会政策課 クラスターにならないために ver.3～

2 事前の備えが大切です！

- 勤務可能な職員のリストを予め作成しておく
- 勤務シフト表とタイムテーブルを予め作成しておく
- ゾーニングを図面上で確認し、備品を準備しておく
- 利用者情報共有シートを予め作成しておく
- 本人と家族に、施設で発生した場合のリスクを予め説明しておく
- 発生時の関係業者の対応を予め確認しておく
- 発生時の連絡先一覧を予め用意しておく
- 行動歴から接触者を洗いだす模擬訓練を実施する

3 発生したときの対応ポイント！

- 感染者と接触が疑われる人のリストを保健所に提出する
- 対策本部を設置する
- 情報公開、情報共有、メンタルヘルスへの対応を迅速に行う
- 濃厚接触者のコホーティングを開始する
- 入院できないときは感染者のコホーティングを開始する
- 業務をスリム化し、感染リスクのある業務は休止する
- 健康観察を強化する
- 医療連携:PCR検査(利用者、職員)の実施は、保健所の指示を受けて行う
- 有症状者への対応を適切に行う